



●さわやかインタビュー

県民の健康 増進を願う

南 禮三さんを訪ねて
(兵庫県立健康センター所長)

六月一日、兵庫県立健康センターがオープンした。同センターは、兵庫県民の健康増進の拠点となるべく設立されたものだ。五月十九日の竣工式で坂井時忠兵庫県知事は「県民が健康について考えるための“健康元年”としたい」と県民の健康づくりについて積極的な取り組みを表明した。今月はオープン早々、同センターの南禮三所長をお訪ねし、お話を伺った。

健康度測定から、まず、始めます。

——最初に設立の目的はどこにあるのですか。

南 そもそもは、各自治体に健康増進センターを設けて県民の健康増進の拠点をつくる、という厚生省の指針に基づいているわけです。それと言うのも、ご存知のように中高年齢層が増えていますね。当然、医療費がかさむ。病気になる前に健康を増進しておけば医療費の節約になるという思想があつてのことですね。

——具体的にはどういうシステムになつているのですか。南 一番の特徴は、健康度測定です。まず検査をしてから運動をしてくださいということですね。センターには

いくつかの運動教室がありますが、それに参加を希望する方に受けさせていただく。教室に参加される方には、初心者の方や、中高年齢でも、これまであまり運動をしていなかつたので、どういうスポーツをやつたらいいのか分らないという方が多いわけです。

——その内容はどうなっているのですか。

南 幼児は問診、尿検査、体力測定。小・中学生は、児の検査プラス安静時の心電図。一般は、それにさらに血液一般検査、肺機能検査と負荷心電図が加わります。以上は教室コースを希望される方の検査ですが、これとは別に健診一般コースがあります。教室コースの検査に加えて、血液生化学検査(肝機能、コレステロール、中性脂肪など)、眼底検査、胸部レントゲンを実施するコースです。

——そういう健康度測定が終つて希望する教室に入るとということですね。いくつの教室があるのですか。

南 プールを使う水泳教室には、幼児、少年少女、女性、中高年、一般成人の各教室、また、体育ホールを使ふスポーツには、幼児体操、少年少女体操、少年少女空

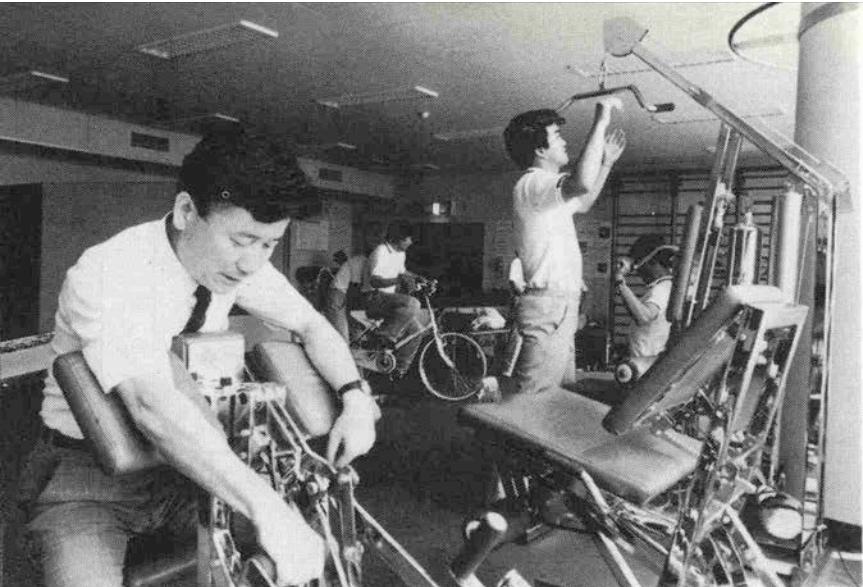
手道、女性バドミントン、女性卓球、女性バレー、ボル、ジャズ体操、リズム体操の各教室があります。その他、研修室ではヨガ教室、トレーニングルームでは男女別の健康教室もやっています。

——教室の定員は何名ですか。

南 三〇名です。教室に入つてからも個人指導的な面が強いです。もちろん一人ひとり個別にということは無理ですが、体力に応じて三つぐらいに分けて指導をしています。現在、運動指導員は一一名おります。

——そうしますと、センターを利用できるのは教室に参加している方だけですか。

南 いえ、そういうことはないですよ。プール、体育館



5階のトレーニングルームには最新式のトレーニングマシーンが各種そろっている。

——それの体調に応じた運動を楽しんでください。
——南所長は、もともと病院に勤められていらっしゃったそうですね。

南 神戸大学附属病院に十年、さらに、国家公務員共済組合の六甲病院に四年、そのあと深江で八年間、開業医をやって、センターへきました。

——じゃ、人一倍、健康には気をつけていらっしゃるんでしょうね。

南 それが、今まで検査もあまり受けなかつた（笑）ただ肥り過ぎには気をつけています。

——スポーツの方はどうですか。

南 最近はテニスぐらいですか。スキーや山登り、サッカーは好きですね。大体、スポーツが好きなんですね。

——最後に、これからの抱負ということでお話を締めくくらせていただきたいと思います。

南 年を取ると誰でも身体上の欠陥が出て来ますね。それも治るのと治らないのとある。いわゆる年病は完全に回復するのは難しい病気です。医学の進歩によって細菌による病気は完全に治るようになりましたが、年齢による生理的変化や身体的変化が原因のものは完全に治るのは不可能です。それでも加齢による身体の変化も治るのではないかと考えている人もいて、それが病院に通う結果となる。もちろん病院に通うことが悪いと言うのではないのですが、生活をあまり規制しないで、言つてみれば悪いところをなだめると言うか、だましながら、生活を楽しむ方がいいわけですね。本当はスポーツが好きなだけれど、血圧が高くて運動が出来ないという人にもそれなりに楽しめる運動をお探ししましょう、というのがわれわれに課せられた使命だと思っています。

（兵庫県健康センター所長室にて）

□兵庫県立健康センター
神戸市東灘区田中町五丁目三二一〇　☎四四一一二三三四（月曜休館）

太陽と緑がいっぱい 西神地区工業団地

中田
宮脇
小脇
青木

善司
義雄

正弘
（川崎重工業株式会社
油圧機械事業部管理部長）

正治

（日本電気株式会社神戸支店長）

貝原
佐伯

岡本
新開

正夫
敏男

（西神テトラパック株式会社
総務課長代理）

博央
純也

（富士電機製造株式会社
神戸工場総務課長）

★これまでの神戸にない最先端の企業が進出

——内陸型の工業団地として、西神地区工業団地が部分的にではありますが、すでに稼動をしています。“太陽と緑のインダストリアルパーク”と呼ばれているように東西約二キロ、南北約一・五キロの緑豊かな工業団地です。また、これと隣接して西神地区住宅団地も計画され職住近接の新しい町が出来つつあります。今回は企業誘致のため奔走された中田神戸市経済局長、操業中または進出を決定された各社にお集りいただき、同工業団地の概要や事業内容などについてお話しをお願いします。

中田　西神地区工業団地をつくりました動機と言いますのは、“企業城下町”という言葉がよく使われた頃ですが、昭和五十二年に神戸経済の主力である造船や鉄鋼の合理化ということがあり、神戸の経済が臨海型に片寄り過ぎている、ある一部の企業の不況が都市全体の活力に影響を与えては困るというような反省がありまして、それまでにも計画中だった西神地区工業団地＝内陸型の工業団地の造成にピッチを上げて来たわけです。

この西神地区工業団地のプロジェクトにつきましては、昭和五十三年に四人の直属のプロジェクトチームをつくつてもらって動き始め、神戸経済の将来のために、全国の有力企業に誘致を呼びかけました。おかげさまで神戸の産業立地としての利点が認められて、今までの神戸になかったような最先端の企業に出て来てもらってきております。神戸の新しい産業の展開が見られるということで、非常に喜んでおります。

この工業団地の特色は、大きく言って三つあると思います。一つは、二五〇ヘクタールの内、工場用地は一五〇。約六割です。あの四割は道路、公園といった公共施設です。でき上がると緑の多い、イメージのいい団地になると思います。それに昭和六十一年開通の地下鉄を中心とした大きな公共投資、大きなプロジェクトをもっています。私は“三角幹線”と言っているのですが、中國自動車道と西神地区工業団地と、そして港。この三点を結ぶ道路と地下鉄という非常に大きなプロジェクトが進行中です。



中田 善司さん



岡本 博央さん



宮脇 義雄さん



佐伯 敏男さん



小脇 正弘さん



岡本 博央さん



青木 正治さん



新間 純也さん

もう一つは、工業団地を中心に七万人ぐらいの住宅団地ができる職住近接となる。それからユニバーシアードが行われる西神総合運動公園とか、あるいは外大が移る学園都市とか、かなり近代都市的な産学住が一体となつたメガロポリスができ上がります。

三つ目は、数少ない大都市近接の工業団地だということですね。

進出企業にはコンピューター関係が多いですが、ロボットあり、家電あり、洋菓子あり、自動車、カメラなど多彩な企業が出て来ておられます。

具体的には、操業中が、西神セトラパック、国際試薬、甲南電機、日本道路、日本リリー、神戸発動機、神戸機械金属団地（12社）、西神機械金属団地（14社）、尼崎パイプ製作所、工場建設中が神戸工芸団地（14社）、タカラブネ、進出が決定している主な企業には、松下電器産業、日本電気、富士電機製造、星電器製造、小松フォーマクリフト、ミノルタカメラ、モロゾフ、川崎重工業、ミサワホームなどです。

この間、百社を越えたと思うのですが、各社からの雇用計画と最終的な出荷額を聞きますと、総額で七千五百

億。雇用で一万九千億という数字が出ております。神戸の大手四社といわれます川重、三菱重工、川鉄、神鋼を合わせて大体七千億ぐらいだと思われます。だから非常に大きなナウエイトの工業地帯になると思います。しかも今までと同じものをつくるのではなくて、新しいシステムを開拓されるような気がしますね。

★油圧ブレイカー専用工場——神戸機械金属団地

民需への積極進出の拠点に——日本電気

宮脇 私ども甲南電機は本社が西宮にございます。社名は“電機”になっていますが、空気機器のコンボーネントを主に造っています。取り扱い品目が小型軽量だったのですが、十年ぐらい前から油圧ブレイカーと言いまして、建設機械のアタッチメントと言いますが、一つの道具ですが、これの生産を始めたわけです。それで、四、五年前から明石の北の神戸鉄工団地で油圧ブレイカーの生産をやっていたのですが、年とともに生産量が増えて、手狭になりました。どこかに工場を建てたいとの希望がありましたが、そこへ神戸市からお話をあり、一昨年にまとまりました。その年の十一月六日に油圧ブレイカーの

専用工場としてオーブンしました。五千坪を譲渡していただいたのですが、二千五百坪に工場を建てています。

最近、ようやく通勤用のバスもついたのですが、約一年少々は、本当に内陸の離れ小島みたいでした（笑）。キジは居るし、キツネは出て来るし（笑）えらい山の中だなあ、という感じでした。出来れば、『森の中の工場』という感じの本当に落ち着いた工場が出来ればいいな、と思っています。

貝原 神戸市内の機械、金属、電機、板金、プレスなどの中、中小企業ばかりが集った社団法人神戸市機械金属工業会という団体がずい分以前からあったのですが、住工混在の地区、あるいは住宅に近い所にあつたので常に小さなトラブルで住民の方々に迷惑をおかけしておりました。それで今から十年ぐらい前から受け皿を神戸市にお願いしてたんですけど、今度の西神地区工業団地がたまたまわれわれが望んでいた受け皿だったわけです。

ただ何分、中小企業というのはまとまりがなかなか難しい。団結のしにくい性格があるので、例のオイルショック時の不況でみんながガタッと来まして、支離滅裂の形になつたのですが、不況の時にこそ団結をしないといけない、中小企業といえども百年の大計が必要なので、景気の浮き沈みに関係なく、最後まで残った12社が市の経済局のご指導を得て、五十五年五月に操業を始めました。当時は明るい見通しもなく悲愴な気持ちが多分にあって進出したのですが、今になれば思い切って出来よかっただと思っていました。

青木 私どもの会社はC&C、コンピューターと通信を販売理念といたしまして営業活動を展開しているのですが、元々の発祥は電電公社をはじめとした中央官庁を中心にして工場を來たわけです。したがいまして工場も殆どが関東地方が中心です。しかし、今から十数年前から工場の地方分散ということで各県毎に一五ぐらいたい直轄生産会社をつくりました。関西地方では山崎に兵庫日本電気がございます。直轄事業所は殆んど関東に集中して、

ています。そういう状況のなかで、昭和五十三年に現在の社長の関本が国内販売グループの担当役員に就任、五十三、五十四年と二年間、担当をしましたが、もともと関本は神戸の新聞地で生まれ育ったわけです。その担当のときに、今後は民需に積極的に進出するという基本方針を出しましたが、積極的に販売を展開するために、特に関西地方に工場がないのは非常にイメージが低いということ、ちょうど神戸市経済局から熱心な誘致がありまして、五十四年に三千坪を契約いたしました。そして今年、一万二千坪を契約させていただき、トータルで一万五千坪となります。地域と密着した営業活動を展開していくということで進出させていただいたわけです。この工場を昭和六十年ぐらいまでに完成するべく今後推進して行くということをやつて行きたいと思っています

★徹底的な合理化工場——富士電機製造

ロボットの量産基地——川崎重工業

岡本 私どもが西神地区工業団地へ進出する動機は、工場移転ということです。現在、兵庫区に神戸工場があるので手狭になり、かと言つて工場制限地域なので手を加えるのもやつかいである。工場としての将来性がない、ということだが、昭和五十年頃から私どもの悩みであったわけです。たまたま経済局からの強いおすすめがございまして、従業員の転居を避けて工場を新しく移転しようではないかということに基本方針が固まつたわけです。それで二万坪を契約させていただきました。

工場の建設計画は二段階に分かれおりまして、一段階目は、一万坪を利用して移転するという計画です。残りの一万坪については、これから新しい製品を導入することになるかと思います。主たる製品分野は受配電盤とモーターの可変速制御装置ですが、受配電盤はもう殆んど技術的に改良の余地がないという製品で、生産管理面でどう無駄を排除して行くかで競争力が決まるというものです。したがいまして、工場建設の基本計画として、とにかく徹底して合理

化された工場にしたいということがあります。具体的にはコンピューターを高度に駆使した事務、設計、管理システムで極限までの無人化を計るという計画です。

もう一つは八十年代の工場ということで、身体障害者の雇用を考慮した工場にしたいと考えております。

また、受配電盤の他にもう一つの柱としてパワーエレクトロニクス、先ほど申しましたモーターの可変速制御

装置の基礎的な技術を軸にして、いわゆるメカトロ事業分野をにらんだパワーエレクトロニクス、この製品の拡大を第一期の計画のなかで計って行きたいと考えています。スケジュールをいたしましては、本年夏に着工の予定で、来年の五月頃に移転、六月から操業の予定です。

小脳 私どもの担当いたしておりますのは、油圧機械といいまして、ちっちゃなポンプモーター、それからロボットの両方をやっております。油圧機械の方は櫛谷町の西神戸工場で、昭和四十三年から油圧ポンプなどを生産しております。ロボットの方は、從来から明石工場の一部の手狭なところでやっております。

ロボットは、オイルショックの頃は非常に生産量が少なくて、月間一、三台、年間で二十台もあればいいぐらいに細々とやっておりました。それが五十三年頃からでしようか、自動車の生産が昔の一種大量生産から混用量生産に變つて来た段階で、今までスポット溶接に専用機を使っていたのが、それでは混量生産にとうてい間に合わないというので、ロボットを大量に入れるということが始まりました。そういう時流に乗ったといいますか、混量生産が主体になつたのと、ロボット自体の信頼性が高くなつたということでロボットの需要が増えて来ました。五十三年から量的に増ええて来て、今年は月間六十台から七十台という状況です。

昨年の中頃までは工場増設ということは考えていました

なり予想されますが、どうしても明石工場内では増設不可能ですし、西神戸工場に増設も考えられるのですが、将来的なことを考えますと、ロボット専用工場をつくりたいということで、昨年の秋口から物色を始めました。それで今年になって西神地区工業団地に申し込みをさせていただきました。

私どもは三期ぐらに分けて工事を進めたいと思っております。一期工事は六〇年に備えまして、月産一二〇台から一五〇台生産可能な工場ということを考えています。それが一万二、三千平米の建物だらうと思います。そのためには土地が四万から五万平米が必要となる。将来、十年後の構想を考えれば十万平米近い土地が要るということで、申し込みは十万平米させていただいております。

★洋菓子のメッカで力をつける——タカラブネ

二千の候補地から西神を選ぶ——西神テトラパック

新聞 私どもは京都のお菓子屋で、関西を中心にして東海、首都圏で約八百店のフランチャイズで店をやっています。東海地区あるいは首都圏におきまして二年おきぐらいに工場を建てて来たのですが、もともとの発祥であります関西でかなり店数が増えて來たということです、京都の本社工場がかなり手狭になつて來ました。それで新しい工場をどこにつくるかで検討をして來たのですが、神戸市から熱心なご誘致があつたことと、もう一つは何と言いましても神戸は洋菓子の発祥の地と言いますか、メックもありますので、そこでいろいろと勉強をしながら新しい洋菓子のノウハウをとり入れたいというようなこともありますまして西神地区工業団地を選ばせていただいたわけです。

一応今年の十月から営業開始ということで現在、工場を建築中です。中味といたしましては、関西第二工場という性格を一面ではもっているわけですから、生産品目につきましては從来とそう変わらないということもあるのですが、一面ではロボット化ということまでは行き

ませんが、ある程度、マイコンなどを入れまして、極力合理的なラインにしたいと思っています。そういうことが必要だということと、他方ではやはり、お菓子なので伝統的な職人芸というところもありますので、現在の需要の多様化に合わせまして、出来るだけそれに対応できるような工場にしたいと考えております。

特に神戸は洋菓子のメッカですので、私どもはこれまではどうちらかと言うと大衆性のある商品ということで伸びて来たのですが、神戸のセンスを勉強しながらやって行きたいと思っています。

佐伯 私どもは一九七九年十二月に起工、八十年十二月に建物が完成、一昨年五月二十日に竣工式をやりました。職員一五〇名で操業をやつております。テトラパックは一九五二年にスウェーデンで、液体食品の流通システムをつくって行こうという会社でスタートしたわけです。

日本では二十年前に営業を始めました。七十年代の初めに御殿場に工場を一つつくり、そして十年経った今、西神に工場ができたということです。

工場の用地については、まず二千ぐらいの候補地をあげまして、そのなかから西神を選びました。それは、やはり神戸港をひかえて輸入に便利がいいということと、一方では、国内の流通経路の要点であるということです。名神高速、中国自動車道、山陰道、山陽道、あるいは北陸道、これの要點であり、将来は四国架橋の完成ということもある、ということで最終的に決めました。

神戸市が工業団地として設計され、緑地などもあらかじめ確保され、企業サイドに目を向けられた行政をされているということももう一つの決め手となりました。

私どもは世界に二十三の工場をもっているのですが、紙容器を生産するということことでつくられたもので、一昨年これと同じものが三つつくられたのですが、過去にくられた工場の全データを集計しまして、最新鋭の工場にしています。以後できる工場については、これと同じものをつくって行こうという考え方です。

職員につきましても神戸地区から全面的に採用し、われわれとしましては神戸に育つて行くということを一番に考えてています。まだまだ発展段階にありますので、これからも神戸の優秀な人を採用できればと思います。

工業団地は道路幅も広いし、公園なども相当組み入れられ、テニスガーデンも先日オープンし、公的サービスが行き届いていますね。ただ将来は、企業団地と住宅団地という二つの面が重なってきますので、トータルとしてその地区の人が使えるものをつくって欲しいです。

宮脇 従業員にも職住一体ということで、ここに住みたいという者が多くなっていますね。

中田 西神地区住宅団地は、関西では最後の一戸建ての地域だといわれています。

貝原 七十パーセントが一戸建てか、二階建てのタウンハウスで、あとの三十パーセントが中高層住宅のようですね。ゆったりとした住宅団地ができるようですね。

佐伯 それと、われわれは外資系の企業ですが、神戸には外国的な考え方の受け入れられやすいところがありますが、この上にさらに空港があればと思いますね。

岡本 外から來たときの顔という意味では、確かに空の便からは遠いですね。また、"顔"ということでは新神戸駅の周辺はもっと整備をして欲しいですね。

青木 われわれはソフトウエアの工場をつくるようと考えているのですが、ソフトは客と密着していないといけないですね。そのためにも早く交通の便をよくしてもらいたいと思っています。

岡本 西神地区の工業団地と住宅団地とをふくめて一つのコミュニティとして文化をつくりあげて行くような方向へもって行きたいですね。

中田 西神には素晴らしい町ができると思っています。おっしゃるように年月を要すると思いますが、文化をつくって行かないといけないですね。西神を文化豊かな町にしたいと考えています。

田崎真珠株

取締役社長 田崎俊作
神戸市中央区旗塚通 6—3—10
TEL (078) 231—3321

オールスタイル株

取締役社長 川上勉
神戸市中央区伊藤町121
TEL (078) 321—2111

カネボウベルエイシー株

取締役社長 稲岡必三
神戸市中央区三宮町1丁目9—1—807
センター・プラザ東館 8F
TEL (078) 392—2101

ベニヤ株

取締役社長 松谷富士男
神戸市中央区三宮町1丁目10—1
TEL (078) 332—3155

モロゾフ株

取締役社長 葛野友太郎
神戸市東灘区御影本町6丁目11番19号
TEL (078) 851—1594



キャンペーン「国際文化都市神戸を考える」の
企画は以上5社の提供によるものです。

神戸を象徴する界隈の新しい魅力づくりについての提案

トアロード・大丸前群像



★個性豊かな坂のある街づくりを——トアロード

澤田 俊夫（草薙園社長）

トアロードは、海から山まで一本の道。しかも北野町に統一しています。かつてあった街灯の設置や

北野との接点となる神戸外国人俱楽部付近にシンボルマークの建設、

街路樹の充実などによって独特のムードのある街となって欲しい。

白川 秀則

（日本専光公社神戸営業所長）

「すばらしい」と感銘を受ける街は、垢抜けしたアイデアが生かされているが、トアロードを徹底して本物指向でアダルトの目を奪うような街、ターゲットをアダルト中心にしぼった街づくりをしてみではどうだろう。

大東 八郎

（レストランハイウェイ相談役）

トアロードは、時の流れによる変化はあっても、山側を眺めた風景は本質的には変わっていないと感じますね。途中まで完成している歩道の整備は、つきあたりまで続けば、その風景として壯観でしょうね。

芦原 博之（㈱サノヘ社長）

神戸で最も国際的なのがトアロードですが、残念ながら戦後の復興は遅れました。道の改装などをしてその第一歩を踏み出した現在トアロードの街づくりとしては、

ひと味ちがう銘店が並ぶ街となるべく進めていくことでしょう。

山田元一郎（へんが亭社長）

トアロードは、元町やセントラル街とちがって、南北に続くオーブンなストリートです。つまり坂道になつてているということで、エキゾチックな雰囲気をもつ坂道として「歩く道」となるべきですね。車の往来が激しすぎますね。

渡辺 利武（㈱マキシング社長）

神戸唯一の南北直線の通りで戦前から洒落た雰囲気の界隈として知られているだけに、行政の力を得てパリのシャンゼリゼのように美しく整備したい。路面の電柱をなくし、北側の一角に文化的な憩いの場を作つてほしい。

西川 幸利（紳士服西川）

エキゾチックで高級な雰囲気は時代離れた良さがあり、本物志向の街として各店が頑固に神戸らしさを保っています。花や緑のあるメインロードとなるよう行政予算も組んで欲しいですね。またできれば休日を統一したいですね。

辻井 豊

（日経商事株式会社・トアロード中央商店街振興組合理事長）

トアロードといつても高架で分断され町の化粧も別々。これを何とか一本の魅力ある町にしたい。

北野の異人館を訪れる人たちがトアロードを下りて帰るようなコースをつくりたい。チーンチーン電車が山手まで走れば名物になるが。

奥川 梅子

（エスター・ニュートン・オーナー）

長いフランスパンを抱えて歩くのが似合う街です。商業地で欧米中国など外国籍の人がこれ程多い所もないという位、横文字が多く異国情緒が楽しめる。願わくば、車の通りをなくして山からメリケンパークまで散策の道にしたい。

清水 俊夫

（株式会社クロス取締役社長）

10何年前から懸案だった歩道のカーラー舗装もポートピアでようやく実現し、次には電柱の美化と駐車場の整備に取りかかりたい。地方の客も大切だが、世界に名を知られたトアロードとして、遠来の人のために共同駐車場がぜひ必要なだ。

廣瀬 正典

（トアロード商店街会長カギ屋金物店社長）

北野とメリケンパークを繋ぐ観光導線としての道を作らねばならぬ。車を閉めだし（あるいは車道を狭くし、速度制限を厳しくする）ブロンズ像、花壇、ベンチ、テンプ風のしやれたアーケード等を設置し、人間のための道路にしたい。

吉田 俊夫／メーブル不二屋社長▽

トアロードは、神戸の古くから店が多いので、神戸らしい商品揃えが特色ですね。最近、舗道が新しくなったので、アーケードも、もっと明るくモダンで軽やかなデザインで創れば一段とはなやかに夢を誘うと思いますが……。

廣川 孫治

△㈱ドンタク神戸事業部直営店課長▽

トアロードは北野と元町方面を繋ぐ重要な道です。歩行者天国の時に、カフェテラスや朝市などのものが路上に並ぶと楽しくなりますがね。シンボル的なものを作り出したいと思います。

中西 省伍

△㈱サロン・デ・モード中西代表取締役▽

ファッショントアロードは個性的でなければならぬ。これは服装だけではなく、ファッショントアロード都市神戸の町並み

★市民に解放、公園的雰囲気のショッピング街に——大丸前

秋澤 三夫／大丸神戸店店長▽

老舗が揃い、格調のある伝統的な街、といえば東京なら銀座、神戸なら元町でしょう。△元町のキャンペーンに沿って、各店舗同士が仲良くしたい。しかも個性がハッキリした店づくりを意識することが、神戸らしさに繋がる。

上根 保／㈱カミネ代表取締役▽

来街客に情緒的満足を与えるた

みそのものに個性的な匂いが要求される。それにはまず知名度の高いトアロードを最も神戸らしい雰囲気のストリートに整備すべきだ

河南 忠義／㈱河南芸社社長▽
道の真中を車が通り、催事をやりにくいのでせめて一車線にしてほしい。二、三年のうちにアーケードをとりかえ、それを基盤に噴水やランタンの設置など、道を整備し、トアロードの名前に誇りをもてる界限にしたい。

笹原 勝彦
△㈱ハースフオース代表取締役▽
自分の主張で洋服を選ぶ感性の高い若者が増えている。この若い消費者にアピールする新しいトアロードの顔を創っていきたい。神戸にこだわらず東京にも影響を与えるようなファッショントアロードから送りたいと思う。

池本 昭三／㈱ワウリスト代表取締役▽

めに、各店はもちろん、商業集積全体として、真剣にその方策を考えなければならない。まさに「物より心」の時代ですね。トアロードとしては車の通行止めが最大のポイントだと思いますね。

瀧 秀昭／みよしや社長▽

近頃の商店街には、ゆとりがなさすぎます。機能を重んじ、メリットの追求に走つばかりいては

北野町からトアロードを経て、南京町を通り、構想中のメリケンパークまでつながる「お客様の流れ」を早く定着させたい。まずトアロードの車の通行を禁止して若い人や家族連れが気軽に立ち寄れる街にすることが望まれる。

末積 良之助／末積製錬㈱代表取締役▽
新しい店が増え地域的にはオーバーストアの状況の中で、昔から知名度が高いトアロードの伝統あるイメージを今取り戻す必要があると思う。各店が個性的なトアロードらしい専門店としての生き方を高める様、さらに努力すべきだ

杉浦 實／スギヤ代表取締役▽
トアロード商店街の舗道が拡幅されて以来、人通りも増えて商店街も賑い、協力頂いた行政側の方々に感謝している。さらにオアシスロード時間帯には、往来の人気が憩うベンチやパラソルを設置できるよう規制の緩和をお願いしたい

お客様が疲れてしまします。この

界限は個性の強い店が多く、遊んでいただきて、結果として買物に結びつくように心がけたいですね

永田 良一郎／永田良介商店社長▽

休日にはトアロード(高架浜側)と大丸前が歩行者天国になるが、本来的には歩道の幅をもっと広げるべきだ。パリのシャンゼリゼ通りのようなオープンスペースが欲

しい。その中でアダルト志向のシヨツピングタウンをつくりたい。

藤井

節子△表苑大丸前店長

ハイセンスな商店群にふさわしい名称が、ます欲しいです。さら

に、交通をストップし、緑を一ぱ

にして、カフェテラスを出し、日曜日にはのみ市や青空画廊など

が開催され、憩いと楽しいショッピングのできる町にしたいです

河崎

保△神戸ショッパーズ社長

南京街やメリケンパークが完成すれば、元町通から大丸前、トアロードを通ってセンター街へと夜間のウインドウショッピングが楽しめるよう工夫したい。行政側と地域が一体になって、明るいプロムナードづくりを目指してはどうか

北出

弥一郎△服部メガネ専務

神戸のセンスの良さは買い物に来てくださる顧客のセンスの良さによるものと思うのです。何よりも顧客第一にすることが、繁栄につながるのではないでしょうか。

大丸前中央商店会は新しい感覚で名称を募集したらいかがでしよう

砂川 松枝△クチュールカセット

大丸前中央商店街は、店の周りを街路がぐるっと取り巻いていま

す。それを公園のように美しく整備し、安らぎがあり、ショッピングの楽しめる町にすべきです。来られた方に満足して帰っていたただくことが町の発展につながります

吉岡 蕙

△株式会社ヨシオカ代表取締役

今やクルマより人を、ビルより緑を大切にする時代だ。大丸前の

商店街も芸術の香りが欲しい。町のシンボルとなるもの、例えば彫刻などをつくる。それも第一級のものが欲しい。我々も地域全体のことを考えないといけない時代だ

芹澤 豊男△セリザワ社長

大丸前のストリートは専門店が集結した、独特的のユニークさがあ

ります。オアシス道路を有効に利用して、ベンチや電話ボックス、彫刻、グリーンなどストリートフォニチニアをうまく配置し、市民に解放できたらいいですね。

島田 光夫△衣裳店社長

例えば大丸神戸店と大丸前商店街に透明なドーム型の屋根を造り噴水やベンチ等を設置して、寛ぎのスペースに利用してはどうか。

地下街でなく、明るい地上で自然日光を浴びながら憩いの場所があるというのは神戸らしいと思う。



経済ポケット ジャーナル

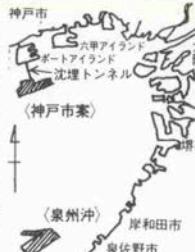


★ポートアイランド沖に

国内線と貨物専用空港を

関西新空港問題について

神戸市は昭和47年の市会で
の神戸沖設置反対決議を見
直すことを決め、実質的に
関西新空港の神戸沖誘致を
示唆すると話題になつていい
たが、去る6月2日、神戸
市は、ポートアイランド沖
に国内線と貨物専用の空港
を建設する案を発表した。



★神戸国際展示場で

O A フェア開催

最新鋭のオフィス・オート
メーション機器を集めて

「'82神戸オフィス・オート
メーションフェア」△主催

・兵庫県中小企業振興公社
ほか△が、5月27日～29日

ポートアイランドの神戸国
際展示場で開催された。

株イナハラ事務機、日本
IBM株、日本電機株、株
日立製作所、富士通株、三
菱電機株の6社が出店し、
パーソナル・コンピュータ、
ワードプロセッサー、

I BM株、日本電機株、株
日立製作所、富士通株、三
菱電機株の6社が出店し、
パーソナル・コンピュータ、
ワードプロセッサー、

その計画によると、ポー
トアイランドの南側を約5
00㍍沖まで埋め立て、さ
らに3㌔沖の海上に埋め立
て地約500㌶の空港島を
建設するというもので、空

港島とポートアイランド間

は沈埋トンネルで結び、四
車線道路とポートライナー
を通して、神戸港と連携し

た関西の物流基地を形成し
ようというのがねらい。空
港本体のほか、周辺整備、
沈埋トンネルなど合わせて
約一兆円の建設費、工期は
調査期間も含めて8年と、
関西新空港の泉州沖案に比
べて安く早く完成できると
している。

★ソーバイフォーの

ニューモデル誕生

三井ホーム㈱神戸支店で
は、5月29日新三宮第2モ

デルハウスに、新しいヨーロピアンシリーズのモデル

ハウスRhone(ローヌ)をオープン、発売を始めた。

同日は岡田徳太郎同社副社

長、宮尾賢大阪支店長、正

木康雄神戸支店長によつ
てテープカットが行なわれ
た。

ローヌは南欧風の外観に
戸袋なしのシャッター雨戸
や対面式キッチンなどが特
徴で、ツーバイフォー設計
による3階建プランもたて
やすくなっている。



関心を集めたOAの展示



右上／モデルハウス Rhone' 右
下／テープカット

モデルルームは四人家族
を想定した64・40坪の広さ
で、石橋とみ子インテリア
コーディネーターによる重
厚味のある雰囲気だ。

△国際試薬㈱総務課△

「恋人は？」と訊ねたら、
「いませーん」とやけに力
のこもった答が帰ってきた
「この欄に載るとお嬢さん
が見つかるからせひ出したら
と部長さんに勧められまし
た。コロコロと可愛い笑顔
が続く。優しくて笑顔の素
敵な人ならOKとのこと。
いま疑っているのはゴル
多いかから語学力をもつと身
につければいいと最後は優等生



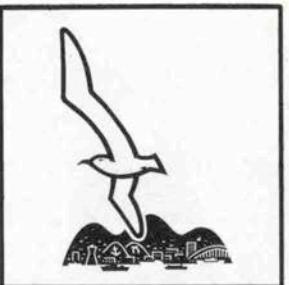
★KOBEオフィスレディ★

岡村

明美さん(23)

(△国際試薬㈱総務課)
「恋人は？」と訊ねたら、
「いませーん」とやけに力
のこもった答が帰ってきた
「この欄に載るとお嬢さん
が見つかるからせひ出したら
と部長さんに勧められまし
た。コロコロと可愛い笑顔
が続く。優しくて笑顔の素
敵な人ならOKとのこと。
いま疑っているのはゴル
多いかから語学力をもつと身
につければいいと最後は優等生

JC ウィーク・イン・コウベ（夏の集い）



神戸いま21世紀への 出発

たび だち

△出席者△

西村 隆治（神戸青年会議所 理事長）

小倉 攻一（同副理事長）

伊達 宗隆（文化問題委員長）

村井 顯彦（社会開発委員長）

井上 尚樹（文教開発室長）

大月 京一（経営開発委員長）

川口 政二（経済開発室長）

石丸鐵太郎（空港問題実行委員長）

日野 賀生（国家・行政問題委員長）

馬田 広光（広報委員長）

宇尾 好博（総務委員長）

21世紀の神戸をデザインする

——神戸青年会議所は25歳から40歳の若年経済人の集まりで253名の会員の皆様がお忙しいなかで活発な活動をされていらっしゃるわけですが、今年は“神戸いま21世紀への出發”をテーマに初めて神戸青年会議所の手でJC

ウイークに取り組まれます。その趣旨からお伺いします。

西村 青年会議所は創立より24年目にあたります。来年が25周年ということもあり、各専門委員会が対外的な事業に思いきって取り組んでみようということで、これまで個々バラバラにやっていたのを一定の時期に集めて「JCウイーク・イン・コウベ、夏の集い」として開催します。春には神戸まつり、秋には文化祭典がありますので、夏はJCが中心にとった知的な祭りにしたい。

今回のテーマを少し敷衍しますと、現在は文明の谷間の時代です。大きくいうと石油エネルギーを中心に発展

してきた社会が今後新しい文明を生みだすためには代替エネルギーをどうしても開発する必要がある。おそらくそれは21世紀になるだろうし、今は先行きのはつきりしない谷間の不安感がある。神戸もボートピアという大きな花火をあげたが、今後どう発展していくか、いろいろなデザインは出ているが確信をもって進んでいくれる時ではない。それを何とか我々が夏に集まつて考えていくこうというものが趣旨です。今年だけで21世紀のデザインができるものではないが、神戸を考える祭りとして毎年継続的にやってきたいですね。

小倉 今までJCは市民に対するサービスをする運動という面が非常に強かった。しかし、これだけ行政サービスが行き届いた現在では青年経済人がどういう形で社会に取り組んでいくのかが重要になります。文化、経済、社会、国際、行政という5つの柱をたて、理想を追うとともに次代を担う指導者としての現実処理能力を踏まえて各事業を開拓したいと思います。

★現実をふまえた大人の運動を

——それでは各事業を担当される方から、それぞれの内容と抱負をご紹介いただきたいと思います。

伊達 文化の柱（神戸文化の創造）としては、みなと神戸のルーツである兵庫津を見直そうと講師の名生昭雄先生

（写真）右より西村隆治、小倉攻一、伊達宗隆、村井顯彦、井上尚樹、大月京一、川口政二、石丸鐵太郎、日野賀生、馬田広光、宇尾好博



と一緒に大輪田の泊・兵庫津を探訪します。三宮とか北野が脚光を浴びていますが、神戸の発展の源は港であり、それがだけ知っているのか。空港問題など神戸の未来を考える始まりは兵庫津なんです。その兵庫を我々神戸っ子がどうぞだけ知っているのか。空港なら今一度過去の歴史をふまえる必要があるのではないか。一遍上人の廟所や清盛塚、かつて三大大仏といわれた兵庫の大仏さんの跡などを実際に目で見、肌で感じてもらいたい。もう一度神戸市民が兵庫のことを考える起爆剤になれればと思います。

村井 社会の柱（生きがいのある人生）としては、高齢化社会の進行という深刻な問題を取り上げています。行政・企業など各レベルで対応策が練られていますが、基礎になるのは市民レベルの合意形成です。共成の社会とよく言われますが、其存とか共感、参加などが基本です。単なる老人問題ではないし世界的・全国的なレベルで解決のつく問題でもない。地域の中でも自ら解決策を模索していく必要がある。この市民レベルのコンセンサス形成のためにJJCとして何ができるかと考えた結

とと一緒に大輪田の泊・兵庫津を探訪します。三宮とか北野が脚光を浴びていますが、神戸の発展の源は港であり、それがだけ知っているのか。空港問題など神戸の未来を考える始まりは兵庫津なんです。その兵庫を我々神戸っ子がどうぞだけ知っているのか。空港なら今一度過去の歴史をふまえる必要があるのではないか。一遍上人の廟所や清盛塚、かつて三大大仏といわれた兵庫の大仏さんの跡などを実際に目で見、肌で感じてもらいたい。もう一度神戸市民が兵庫のことを考える起爆剤になれればと思います。

村井 社会の柱（生きがいのある人生）としては、高齢化社会の進行という深刻な問題を取り上げています。行政・

企業など各レベルで対応策が練られていますが、基礎になるのは市民レベルの合意形成です。共成の社会とよく言われますが、其存とか共感、参加などが基本です。単なる老人問題ではないし世界的・全国的なレベルで解決のつく問題でもない。地域の中でも自ら

が市民の中に融け込んで1つの場づくりをしていくこうと

いうことになりました。「武道とゲートボール市民の集

い」は市内各区でゲートボールを楽しんでいるお年寄り

と武道に励む少年をジョイントすることで世代を超えた

市民合意の場をつくるというねらいです。武道を通し

て明るく調和のとれた青少年を育成するというのも勿

論、目的のひとつで当日は王子スポーツセンターを借り

きつて2千名規模の集いにする予定です。

また保存血液の不足が社会問題となつておりますの

で、この機会に市民へボランティア活動としての献血を

呼びかけます。

井上 兵庫津の探訪と武道大会の両方を担当しています

が、過去の歴史の流れのルールを見ながら展望しない未

来は幻であるというのが私の考えです。過去から今日ま

での流れを見なければ現状の認識もできないし、未来も

展望できないのにその部分が空白である。と同時に神戸

が観光に力を入れている中で歴史遺産のたくさん残る兵

庫を見直すべきだという考え方です。武道についてはスポ

ーツとしての立場から見直しながら教育問題や精神的な

ものを探つてみたいというふうに思っています。

大月 経済の柱では、経営セミナーから紹介します。「活

力ある創造を求めて」がテーマで、不透明時代、変化の

時代といわれる今日、価値観の多様化と新しい価値体系

の誕生が進んでいます。経営者として視野を広げ勉強し

ていくことが目的で、講師には各分野より著名な方々を

お招きしております。従来経済同友会が夏季講座をやつ

ていきましたが、昨年からJJCが共催という形になり、今

年も継続して行なうわけです。

川口 神戸青年経済人セミナーは神戸経済が変動期に入

った中で、今後どのような方向を進んでいくべきかにつ

いて米花穂先生の講演をいたくほか、ファンション、

港湾・貿易、製造・建設、観光・サービスの4分科会を開

きます。各ジャンルの若手経済の方々、行政関係者



などで討論していただき、積極的な提言を行なつていただきたい。これは経済同友会に後援していただきます。

石丸 経済と国際の両事業にまたがっているのが空港シンポジウム「海から空へ」です

JCは10数年来、この問題に取り組んできましたが、昭和46年に航空審答申が出でから「孤軍奮闘でようやく最近光が見えてきた感じです。我々としては昨年9月28日の『海から空へ』出版記念会で神戸のオピニオンリーダーへの啓蒙はほぼ終ったとどらえ、この動きを更に一般市民のレベルまで広げるのが本年の目標です。深田祐介さんの基調講演と市商連・組合・婦人団体・青少年団体、JCの兵庫ブロックなど5団体による分科会を行ないます。大きな問題で、我々JCが独自に取り組む最後の場になると思いますので、特に力を入れたい。

小倉 國際事業では貿易摩擦の問題を取り上げています。神戸は国際都市と言われていますが、我々市民がはたして真の国際人かと問わると心

もとない。外国人に慣れている反面、閉鎖的なところもある。我々が世界人としてどう生きていったらよいかを考える上で貿易摩擦というのは大変重要なテーマであるわけです。在神の外国人の方から話を聞くだけでなく、国内の各領事館に直接インタビューしてビデオに収めました。各企業の輸出担当者の意見もインタビューをしています。

日野 行政の柱では、いま問題の行政改革を取り上げようとして勉強を進めています。中央では第二臨調が開かれていますが、我々は身近な市の行政について考えようということです。行政の範囲は非常に広くて先ほどから出ている問題のすべてが政治・行政に行きあたるが、行政のサービスのあり方の中に過剰な部分はないだろうか、あるいは市民の側の甘えによるものはないだろうか。JCとしては行政サービスと市民の接点をどう求めるかという問題に絞り、神戸大学の中村五郎教授をコーディネーターに行政・自治会・婦人団体代表などの意見を伺います。市民の立場から行政のあり方で見ていくというのは大切なことで、単年度の事業に終わることなく継続して進めたいと思います。

小倉 以上が5つの柱にそった事業の概略ですが、いずれも市民とのコンセンサスを大切にするという方向で貫している。最後のしめくくりとして懇親パーティを予定し、心の交流を深める場にしたい。全体として社会の根幹にふれるものをやっているので、ここでは柔らかく楽しい雰囲気を出していきたいですね。

馬田 私は全体の広報を担当していますので、JCにとって今年度最大のイベントをどうアピールしていくかが課題です。全てが耳障りのよいことばかりでないだけに何故JCが主張するのかを市民の皆さんに理解してもらえば幸いです。

宇尾 JCウェークが全体として成功するように働いていますが、中身の深い部分が出てきていますので、ぜひ楽しみにしてほしいと思います。

KOBÉ WEEK

スケジュール

神戸いま21世紀への出発

生きがいと活力ある社会をめざして――

先人の轍のあとに

青年は 清新の気魄を
旅の衣につつむ

いま 扇の港より世界の
道へ出発の時

ル市民の集い

8月3日9時～17時

神戸市立王子スポーツセ

ンター、武道・体育館、
ゲートボール・陸上競技

場

「愛の献血」

8月7日10時～15時

国際交流会館前

「経営セミナー―活力あ
る創造を求めて」

8月1日13時～17時
兵庫駅浜側一帯を散策
講師／名生昭雄（県立鈴
蘭台西高校教諭）

8月7日10時～12時

神戸国際会議場

生きがいのある人生
「世代を超えた心のふれ
あい―武道とゲートボ―

△社会▽

角南商業株式会社

正興産業株式会社

柏井紙業株式会社

取締役社長 秋田 博正

西宮市久保町二一

電話（0798）三三二一七〇二

角南商業株式会社

取締役社長 角南 猛夫

神戸市中央区小野柄通七一―十

八 三宮ビル八F

電話（078）二五一―五五一一

関西貿易株式会社

取締役社長 竹田 剛男

神戸市兵庫区出在家町二一六一―九

電話（078）六七一―六〇二

光印刷株式会社

取締役社長 南部 圭三

西宮市津田町三一六

電話（0798）三六一―五五

田崎真珠株式会社

取締役社長 田崎 俊作

神戸市中央区旗塚通六一三一―〇

電話（078）二三二一三三二

株式会社

ジエミニオート神戸西

代表取締役 士居 丈治

神戸市長田区脇塚町一―一〇

電話（078）六四三一〇四八三

株式会社 菊水總本店

取締役社長 菊水 啓輔

神戸市中央区多聞通三一三一―五

電話（078）三八二一〇〇八〇

柏井紙業株式会社

取締役社長 柏井 健一

神戸市中央区加納町四丁目一〇一

二一 電話（078）三三二一六〇一

神栄石野証券株式会社

取締役社長 石野 成明

神戸市中央区栄町通一丁目一五

電話（078）三九一―〇〇〇一

バンドー化学株式会社

代表取締役 崎部虎四郎

三田市大川瀬一―六七

電話（0795）八一―三七一

開西観光開発株式会社

代表取締役 片山 開

三田市大川瀬一―六七

電話（0795）八一―三七一

土居自動車工業株式会社

代表取締役 士居 丈治

神戸市長田区脇塚町一―一〇

電話（078）六五二一〇〇三九

樽本産業株式会社

取締役社長 樽本 久

神戸市兵庫区七宮町一一〇一十二

電話（078）六七一―六三二五

